

自民議員が催しで講師

トトロ。トトロ。

内外の危機に立ち向かう平和大使運動

藤井嵩山市長らが来賓で出席した2021年5月30日の「オープンカレッジ」の写真=平和大使協議会のホームページから（現在は削除）

活動に「お墨付き」

昨年5月30日、市教委の後援で開かれた第58回「オーフンカレッジ」は、協会と都立県内の政治家の審査員らりを表す象徴的なイブントと詮えます。

当行事では、統一協会開祖の文鮮明(故人)・鶴禰子夫妻が創設した天平和連合会長(UPF)の日本支部「UPFジャパン」議員で国際勝共連合会長の桜井正義氏が講演。教団から選挙支援を受け、当選直後の藤井市長はこの場に来賓として招かれ、平和大使に任命されました。(現在は

眞は平和大使協議会のホームページに掲載されました。(現在は削除)
今年6月、県平和大使協議会の申請を受け、藤井市長が行った「田前マーケー」も、市が後援してくださったものです。

県議、市議、議員団など、根深く統一協議会に加入している。

今年7月、地元行政の局チヨーリップテンショの取材に、少なびくじら4人の異議が選舉支拂金を受けていたことがあると回答しました。そのうち2人の自民異議が同風のインタビュードで詮言。前述の稗田氏と、

光雄副議長は19年間に会派の勉強会と称して統一協会を数回開いた。この反共諜略団体「國勝共連合」幹部の唐和代氏を講師に招いて「共通点」がありが全国的に推進する「家庭教育支援条例」や同性愛・LGBTに対する反対の立場だ。

月 月 市の態度を躊躇せた
月 月 じ ものです。(この日16日
月 月 に 仁既報)

主権の「家庭教育総連合」や西原流の「家庭講習会」、興義、市議会を講習会場として招く公認講習「オープンカレッジ」を後援し、統一協会における付託を与え出した。

た緑田道臣(ひやべみやこ)・
中(なか)村(むら)和(わ)智(ち)・
使(つか)使(つか)義(ぎ)・
の回(か)で、謹(きん)慎(しん)経(けい)験(けん)せ
る事(こと)が出来(でき)た。

統一協会の選挙支援を受けたと証言。田切三市議はインターネットで新田知事同様、選挙支援を「ありがたい」と答えていました。

を裕長に譲り、藤井市長は新田知事へ國交を断つた。新田はこれを要諭した。

徵氏追及

説の創設者（新井了）が、
「人間の本性は、善と惡の二つ
を混じたものだ。」と述べた。

西郷の取材では、年一月に西郷亮から製した富山市議会の大会议「富山市議会由来主観」の市議会

今
三市選出(赤黒らか
最
二、吉田家のHP)と
党員二千五百人があ
ざれども中央(入

（註）
日本共産党の「やゝ政治を蘇らしめ
離井戻れいじか」、「ハーナンショ」に就
するものが日本共産党中央委員会の
田嶋裕郎衆院議員が務めた中川忠義監
議團も参考で出席。同
議です。
7月27日には党員議